

米国鑑定士協会(ASA)

## 国際資産評価士(機械・設備) 養成講座のご案内

一般社団法人日本資産評価士協会(JaSIA)では、米国鑑定士協会(ASA)との協定に基づき、我が国においてASAの機械・設備評価の国際資格取得に向けた日本語による養成講座を提供することとなりました。

当講座ではASA本部から実務経験豊かな認定講師を招き、日本語訳テキスト・教材を使用し、通訳による日本語環境での講義を行ないます。

全4回各3日間の講義、演習、修了試験で構成される講習を通じて、国際財務報告基準(IFRS)及び国際評価基準(IVS)に準拠した機械・設備の評価理論及び実務を習得し、グローバルスタンダードに基づく機械・設備の評価ノウハウの習得をすることができます。

さらに、JaSIAに入会し(同時にASA入会扱い)、学科講習を修了の上所定の実務経験の要件を満たし、評価報告書の審査を受けることにより、『国際資産評価士(機械・設備)』の資格を取得することができます。



# I ASAの国際資産評価士資格制度について

## ASA(米国鑑定士協会)について

ASAは米国の首都ワシントンに本部を持つ1936年創設された、米国の最も古い歴史を有する鑑定教育・資格の業界自主団体です。米国では鑑定業務の中立・独立性を維持するため、国による資格制度は存在せず、基本的に非営利の業界による自主団体により制度が創設・運営されています。ASAでは、現在不動産、動産、機械・設備、事業(含む知財)、美術品、宝石等それぞれの専門分野での評価に関する教育と資格認定を提供しています。動産、機械・設備、事業評価の分野に於いては特に高い権威と信用力を誇っています。

ASAは1987年の米国鑑定財団(The Appraisal Foundation/TAF)の創設メンバー(8団体)を主導した団体です。TAFは米国連邦議会で認可された財団で、会計制度における米国財務会計財団に相当します。その内にあるASB(Appraisal Standard Board: 鑑定評価基準審議会)は会計制度に於けるFASB(米国財務会計基準審議会)に相当し、連邦政府による批准を受けた機関で、会計原則に対して、統一的な資産評価基準を策定しています。

ASAの鑑定教育・資格は、東欧、中国、その他アジア諸国、オセアニア等にて広く受け入れられ、これらの国々における評価のスタンダードとなっています。また、ASAは現在IFRSに対応した国際評価基準(IVS: International Valuation Standards)の策定作業についても、TAFと共に積極的な役割を果たしています。

## II なぜ今後、総合的な資産評価(機械・設備等)の重要性が高まるのか

経済のグローバル化に伴い、2015年には我が国にもIFRSの適用が予定されています。IFRSは時価会計を基本とし、これまでの企業の期間損益に注目した収益費用アプローチから、企業を構成する保有資産の経済的な評価に注目する、**資産負債アプローチへの企業会計の大転換**を目指すものです。このアプローチでは企業の収益は保有する資産・負債の時価の増減(包括利益)で表示され、**今後有形・無形を問わず企業が有する資産の時価評価がますます重要**となってきます。

このような世界情勢に対して、現在日本において不動産鑑定制度以外に資産評価のインフラが殆ど確立されておらず、評価の基準すら存在しないのが実情です。特に製造業を中心に、機械・設備が企業の資産の大きな部分を占めているのに対して、専門的な教育・訓練を経て機械・設備を企業会計の要件に則り適正に評価できる専門家が皆無に近いのが現状です。そこで現在、早急に資格を有する評価人を育成することが喫緊の課題となっております。ASAの資格・教育制度は米国内外での信頼と実績に裏打ちされたものであり、我が国においてもその社会的ニーズに応えられるものと考えております。

## III 本講座へのご参加を特にお勧めしたい方々

- 不動産以外の担保の管理強化や融資手法の多様化を目指す銀行等の金融機関の融資担当の方々
- 資産評価ノウハウ・知識を深化させて更なるキャリアアップを目指す公認会計士・税理士・弁理士・補償コンサルタント等のプロフェッショナルの方々
- 機械・設備を含む複合的な評価サービスを提供することで業務の差別化や収益拡大を目指す不動産鑑定士の方々
- IFRS下において、企業価値向上に向けた資産保有・活用戦略立案のための基礎知識の習得が求められる財務・経理担当者の方
- 事業再編のコンサルティング、M&Aアドバイザリー、コーポレートファイナンス業務に従事している方々

## IV JaSIA-ASAに入会し、資格を取得することのメリット

- ASAの評価士資格及びその評価書は世界4大会計事務所(ビッグ4)の間でも広く認知されています。
- 協会への評価依頼に対する問い合わせを会員に紹介し、会員の評価業務の受注を支援します。
- IFRS、IVSの動向等、資産評価に関する最新の世界情報を日本語にてタイムリーに提供します。
- 世界一流の実務家・アナリストによる評価理論・ノウハウに関する論文等を紹介します。
- 評価実務ノウハウや関連トピック等、資格取得目的以外のセミナーやワークショップも開催予定です。

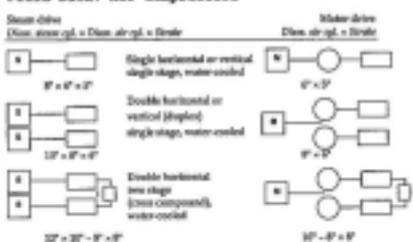
## V 本講座を構成する4コース(評価原論)の概要

	コースの目的 及び 主要講義項目
<b>第1回</b> <b>ME201</b> <b>コース</b>	機械・設備評価の専門用語及び概念を学び、資産評価士としてキャリアを築いていくための基礎を固める。 ・ 評価が担う目的と機能 ・ インデックスの活用 ・ 三つの評価手法 ・ 最新・老朽化資産の価格決定演習 ・ 減価償却及びその決定要素 ・ 倫理及び専門評価基準(IVS) ・ 現地調査のテクニック及び安全確保 ・ ホームワーク
<b>第2回</b> <b>ME202</b> <b>コース</b>	機械・設備評価で一般的に使用される評価額の種類について理解を深める。 ・ ME201の復習 ・ インデックスの作成 ・ 使用年限 ・ 経済的使用年限の概念 ・ 評価額の種類(新規再構築費用、再調達費用、継続使用の公正市場価格、通常清算価格等)及び算出根拠 ・ 事例研究 ・ ホームワーク
<b>第3回</b> <b>ME203</b> <b>コース</b>	ME201及び202で習得した概念及び技術を事例研究を通じて高度化する。 ・ インデックス処理により価格決定テクニック ・ 割引率の算定 ・ 設置費用等の算定 ・ 再構築価格と再調達価格 ・ 機能的後退の計量化 ・ 調査データの活用 ・ 現在価値の算定 ・ 事例研究:製油設備(評価手法と評価作業) ・ ホームワーク
<b>第4回</b> <b>ME204</b> <b>コース</b>	これまでの3コースで学習した概念等の包括的な復習を行い、理解を徹底する。 ・ 評価の減価要素(物理的減価、機能的・経済的後退、過剰経費等の評価) ・ 3つの評価手法を活用した機械・設備評価 ・ 様々なリース取引及びその評価 ・ 条件付き売買契約 ・ 評価報告書の作成演習(構成項目、IVS、倫理規定等) ・ 事例研究:製鉄工場 ・ 総復習

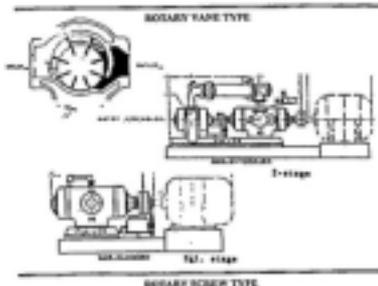
講習を受ける前に事前に配布されるテキストを予め通読しておく必要があります。

ご参考:原文テキストからの抜粋(実際の講義では邦訳の教材を使用)

Field Data: Air Compressors



Id Data: Air Compressors



Field Data: Sewing Machines, Jig

Modeling	2D	3D	2D	3D	3	3, 4	3, 4	and	3D	and	3D
Table size	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Special travel horizontal and vertical	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Rotary columns	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Special head/step/cont.	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Special control	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Distal 2D 2' x 2'	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Distal 2D 2' x 2' 1/2'	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Distal 2' x 2' x 2'	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Special 2D 2' x 2' x 2'	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Special 2D 2' x 2' x 2'	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Special 2D 2' x 2' x 2'	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Special 2D 2' x 2' x 2'	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

## VI お申し込み・費用

### ■ 講座受講費用

- 1コース当たりの受講費用  
 JaSIA会員 52,500円(税込み)  
 JaSIA非会員 73,500円(税込み・資格取得を目的としない社員教育等を想定)
- JaSIA・ASAへの入会(年会費90,000円)については、別途「入会のしおり」をご参照ください。

### ■ お申込み・お問い合わせ先

JaSIA: 一般社団法人 日本資産評価士協会  
 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-12-12オスカカテリーナ5F  
 Tel: 03-3358-9883 / Fax: 03-5269-6357 担当: 川名、高瀬、古香  
 電話・FAXまたは協会HPでお申し込みを承っています。  
 (<http://www.jasia-asa.org> E-mail: [info@jasia-asa.org](mailto:info@jasia-asa.org))

# 国際資産評価士資格取得のプロセスについて

( 詳細については資格取得ガイドをご覧ください。 )

## ■ 資格申請条件

ASAの資格認定を受けるには、以下の条件を満たす必要があります。

1. ASA (JaSIA)<sup>1</sup> の会員となること。
2. ASAの倫理試験<sup>2</sup>、国際評価基準(IVS)に関する試験<sup>3</sup>に合格し、教育基準(評価原論・ME201、ME202、ME203、ME204の受講と各修了試験合格)を満たしている「志願者(Candidate)」であること。
3. 4年制大学の学位、もしくはそれに相当する学位を授与された者(又は別途同等と認定された者)。
4. 認定資産評価士(MA:Accredited Member)になるには2年以上の実務経験、上級資産評価士(ASA:Accredited Senior Appraiser)では5年以上の実務経験が必要です。(2,000時間 = 1年間分の実務経験)

(注1) 日本語によるASAの教育及び会員サービスを受ける場合はJaSIAへの加入が必要となります。 米国にて英語での受講、会員サービスを希望される場合は、ASAの米国本部への直接の申し込みとなります。

(注2) ウェブ上での試験となります。

(注3) IVSの最終案が策定されるまでは「IVS準拠に対する宣誓」で対応します。なお、米国内での評価を行うことが想定される場合はUSPAP(米国鑑定実務統一基準)に関する試験(英語)を受験する必要があります。

## ■ 申請手続き

上記申請条件を満たす者は、JaSIAを通じてASA本部に対して下記(原則日本語で対応可)を提出します。

- ・ 認定申請書
- ・ 認定申請費用
- ・ 学歴証明書(卒業証書の写しまたは、大学学位相当の証明書)
- ・ 鑑定経験記録(過去2年以内に行われた全鑑定評価の要約)
- ・ 過去2年間に申請者が顧客のために単独で作成した評価報告書1部

## ■ 機械・設備評価士資格

機械・設備評価については、本パンフレット記載の機械・設備(Machine & Equipment)に加えて、以下の専門分野が設けられています。ご興味のある方は別途お問い合わせ下さい。

- ・ 航空機 : Aircraft
- ・ 海事鑑定(個人用船舶) : Marine Surveys-Yachts
- ・ 海事鑑定(商業用船舶) : Marine Surveys-Commercial
- ・ 鉱山・採石設備 : Mines and Quarries
- ・ 石油・ガス設備 : Oil & Gas
- ・ 費用調査 : Cost Surveys
- ・ 公共設備 : Public Utilities

## 一般社団法人 日本資産評価士協会 (Japanese Society of Independent Appraisers) について ( 商標登録済 )

日本資産評価士協会は、グローバル化、IFRSの導入など、新時代を迎えた我が国の会計・企業財務実務のニーズに対応する総合的な資産評価のインフラ創設に向け、教育事業、研究、提言、その他啓蒙活動の実施を目的として、不動産鑑定士、公認会計士、弁理士、学会等の有識者が中心となり、2010年に設立された非営利の社団法人です。その主要事業として、米国ASAとの業務協定により、日本でのASAの資格・教育制度の普及を担っており、動産、機械・設備、企業価値評価(知的財産を含む)の資産評価士育成のため、日本語環境でのトレーニング・試験・ライセンス供与・会員サービス等の提供を行います。政府の「知的財産推進計画」に対し意見を具申しているほか、経済産業省の推奨するABL協会の活動等も支援しております。